

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	のぞみ発達支援室うしく		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	〈保護者との子どもに対するの共通理解〉 ・グループ、個別指導のフィードバックの際、直接、保護者と話す機会が多く、子どもの発達状況を情報共有できる。	子どもの発達についての相談や家族間の困り事等、迅速に対応すること、的確なアドバイスができるように、心がけている。	子どもや家族が、日々の生活の中で、困っていることへのサポートが十分にできるよう、他機関や学校との連携と職員の技術向上等に努めていく。
2	〈子どもに合った活動環境〉 ・子どもの発達に合った活動のできる部屋が多くあり、子どもの発散や情緒の安定につながる環境が、確保できる。	その日の体調や機嫌により、指導課題の内容を変え、ひとりひとりに合った、対応を心がけている。	子どもの発達や情緒の安定を考慮して、楽しく学習につながられるような活動を提供していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	〈ホームページやSNS等の発信〉 ・ホームページ等の発信が難しく、活動概要等が伝えられていない。	時間の配分がうまくとれず、定期的な情報発信ができていない。	職員間で連携を取りながら、時間の確保ができるように努めていく。
2	〈安全計画についての周知不足〉 ・保護者と子どもの安全について、事業所で作成した安全計画の連絡が不十分である。	職員間での安全を確保する計画の周知と共に保護者にも伝える時間を十分に設けていない。	職員間では、安全計画を定期的に見直すことで、迅速な対応につなげていく。また、保護者には事業所で作成した安全計画を定期的伝えていき、周知してもらえるようにしていく。
3			